

市5年のあゆみ (H17.3.28 ~ H22.3.28)

この3月28日に市の誕生後5年が経過します。合併後の足あとを共に振り返りながら、将来への展望につなげたいと思います。

平成17年11月に、霞ヶ浦大橋が無料化され、交通量が増す中、歩行者に配慮した深谷大和田バイパスが開通。やまゆり館を開館し、若夫婦をサポートする子育ての拠点ができました。

また、市の食材を生かした特産品の開発に、商工会などが主に取り組み、市の推奨品「湖山の宝」を認定し、市内外にかすみがうらの魅力を発信しています。

身近な問題の耕作放棄地については、トレーニングファームや都市住民の農業体験事業を通して、新規就農者の支援に取り組んでいます。

これまで、事業を支えていただいているボランティアの皆さんに感謝し、豊かな郷土にかすみがうらの発展に向け、行政も市民も共に汗を流して住みよいまちづくりを進めていきます。なお一層のご協力をお願いいたします。

平成17年～平成19年

年月	主なできごと
平成17年3月	霞ヶ浦町と千代田町が合併「かすみがうら市」誕生
4月	初代市議会議長に塚本肇氏が就任 霞ヶ浦環境科学センター開館
5月	初代市長に鈴木三男氏が就任
6月	天皇皇后両陛下が霞ヶ浦環境科学センターをご視察
7月	市誕生記念式典開催
8月	少年のつばさで中学生をオーストラリアに派遣
10月	千代田庁舎に証明書発行自動交付機設置 高円宮妃殿下、霞ヶ浦環境科学センターをご視察 第1回生涯学習フェスティバル開催 第1回かすみがうら祭を開催(2会場)
11月	霞ヶ浦大橋有料道路が無料開放
12月	霞ヶ浦地区の梨が茨城県銘柄産地指定
平成18年2月	第1回市民マラソン大会開催 帆引き船が「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選」に認定
3月	第1回かすみがうらふれあいフェア開催 本市が舞台の映画「恋するトマト」が完成 市区長会を統合設立
4月	新治児童館開設 アントラージュが鹿島スタジアムで「かすみがうら市の日」開催
7月	第2代市長に坪井透氏が就任
10月	コミュニティバス運行開始
12月	県議会議員新治郡選挙区で狩野岳也氏が当選
平成19年1月	市議会議員選挙で20人が当選 地域包括支援センター開設
2月	市議会議長に矢口榮造氏が就任 市地域防災計画を策定
3月	レンコンが茨城県銘柄産地再指定 市総合計画を策定



千代田庁舎開庁式



市誕生後初のあゆみ祭り(第18回)



第1回生涯学習フェスティバル



市区長会設立総会

「次のステージへ」 ニュース追い記事②

市民の足として発足したコミュニティバス(H18.10.1～)と乗り合いタクシー(H20.4.1～)

市の地域公共交通会議では、市内を巡回するコミュニティバスと市外への乗り入れをする乗り合いタクシーの運行方法を見直した事業計画を国に申請しています。認可後は、①市内を巡回するデマンド型乗り合いタクシー、②あじさい館～土浦駅東口間のシャトルバス、③歩崎公園～雪入ふれあいの里公園間の主要な観光施設を巡回するシャトルバスとして10月からの実証運行を予定しています。



第1位 224票 霞ヶ浦大橋無料で 利便性向上

昭和62年3月3日に開通した国道354号霞ヶ浦大橋有料道路が、平成17年11月1日無料開放されました。10月28日、記念式典が行われ、地元の幼稚園児や小学生が式典に花を添えました。



広報かすみがうら1月号の企画「広報誌から選ぶ合併5周年5大ニュース」に、たくさんのご応募をいただきありがとうございます。480件を集計した結果、次の5点を5大ニュースに決定しました。5個をピタリと当てられた方がいなかったため、4個を当てられた24人の中から、抽選で10人に景品を贈呈しました。あなたが選んだニュースはいくつありましたか？

広報誌から選ぶ 5周年5大ニュース 集計結果

固広聴広報課
☎内線 1151

市誕生5周年



第2位 184票 国民文化祭帆引き船フェスタに皇太子殿下が来市

平成20年11月2日、皇太子徳仁親王殿下が、国民文化祭市主催事業「帆引き船フェスタ」であじさい館に来館され、帆引き船模型づくりを視察されました。



第3位 183票 天皇皇后両陛下が全国植樹祭で来市

平成17年6月6日、天皇皇后両陛下が、第56回全国植樹祭の行幸啓先として霞ヶ浦環境科学センターを視察されました。



第4位 172票 新型インフルエンザが流行

平成21年世界的に流行がみられた新型インフルエンザにより、市内小中学校では延べ116学級に及ぶ学級閉鎖措置がとられました。

第5位 137票 かすみがうら祭に6万人の出入

毎年11月3日、第1常陸野公園で行われている祭で、鳥羽一郎、八代亜紀、香西かおりなどが歌謡ショーに出演し、祭を盛り上げました。



「ひとつになりました」 ニュース追い記事①

両地区会場で行われたかすみがうら祭が1会場に(H18.11.3)



合併初年度は、千代田・霞ヶ浦両地区で別の日に行われたかすみがうら祭も、平成18年度から11月3日に第1常陸野公園1会場で開催されることになりました。両地区の特産品や、文化作品、郷土芸能が一同に集まり、文化と産業の融合が図られました。

市誕生5周年記念 文芸ひろば

5周年をテーマにした俳句と短歌の募集に文化団体をはじめ多数の方々からご応募をいただき、ありがとうございました。

俳句

朝桜五年の幹の漲れり
飯沼礼子(上土田)

立春や手と手をつなぐ五歳の子
石平周蛙(市川)

梅咲きて湖山の空広がりぬ
枝 力(稲吉)

田も畑も跨ぐ大橋風光る
大塚隼人(新治)

春立つや町繋ぎたる市民バス
大西周(稲吉東)

春の湖市民活動五歳なり
加藤貞江(稲吉)

里山のぐるりと芽吹き五周年
小松崎緑(上志筑)

春の湖風を染める帆引船
榊原清志(稲吉)

古き水新しき水春の湖
桜井愛子(中志筑)

春暁の湖まっすぐに船の水脈
桜井筑蛙(中志筑)

山百合の豊かに咲いて五周年
中島暉子(下志筑)

五周年迎へし街の春めけり
西多恵子(土浦市)

帆を揚げて二艘連なる春の湖
萩原初枝(上土田)

この街に老いてゆきたし春コート
松村久子(下稲吉)

山と湖繋ぎて五年風光る
矢口三郎(稲吉東)

秋風に大輪の花帆引き船
石塚文子(牛渡)

待ち待ちてコミュニティバス春の風
大山岩男(下稲吉)

髪なでて一言交わし雛飾る
折本アイ子(宍倉)

帆引き船七色の風吹きぬけし
久保庭悦子(深谷)

七色帆重ねし月日春の湖
車田さきみ(大和田)

人を恋う笑顔あたたかあじさい館
鈴木さきし(深谷)

鴨達の羽ばたき強き湖の風
萩原とし子(南根本)

筑波嶺の秋色のこし帆引き船
福井かつ子(宍倉)

花の道コミュニティバスかげろえり
福田宏通(加茂)

春暁の風際立たす帆引船
大橋俊彦(東京都)

懐かしき我が故郷や光る湖
高橋フミ(下佐谷)

帆引船歓声のなか湖へ
松沢よ志の(深谷)

短歌

この街の人となり得て七十路を合併記念の五周年祝う
野田美智子(河内町)

喜びの短歌を求め親しみの美しきかなかすみがうらよ
岩本アイ(下稲吉)

かざす灯の光あまねきを希ひつつ「かすみがうら市」五年を経ぬ遠藤富重(下稲吉)

幾度か作品展の案内状あじさい館も間近くなりぬ
中根美子(下土田)

合併で地域の特徴持ち寄りてかすみがうら市活気溢るる
目黒しづ子(稲吉東)

つぎつぎと小さき店は大型店に吸い込まれ行きしシャッターの町田中好子(下稲吉)

歳月の流れは早し五周年霞浦の里に幸祈るのみ
橋本とし(栗田)

舗装路広くロードミラー掲げられ合併五年の邑を映せり
的場登志子(上土田)

結ばれし山と湖とのふるさとよ力合せて伸びよ明日へ
中島良平(稲吉東)

湖山の幸多き市の五周年祝いて集ふ歌の友らと
小貫弘子(牛渡)

市となりしかすみがうらの地の恵み多くの歌人と交り和む
小室貞江(西成井)

かすみがうら市未来に期待ふくませ五周年を祝ふ市の一人として
飯島ヒロエ(三ツ木)

二町村合併なれど吾はまだあまりなじめぬかすみがうら市
名倉観子(下大堤)

月一度市報が届く嬉しさよ市民の心が活字に生きてる
菅谷味子(柏崎)

平成の隣人繋ぐ合併の霞と千代田線路を越えて
村田和史(宍倉)

ひらがなの市の名もいつか地になじみありがたき湖輝きて在る
高橋悦子(下佐谷)

平成19年～平成22年

年月	主なできごと
平成19年8月	あゆみ祭り20周年
10月	市民憲章を制定 総合型地域スポーツクラブ(KSC)が設立
平成20年1月	かすみがうら食発見コンテスト開催
4月	地域福祉センター「やまゆり館」開館 長寿(後期高齢者)医療制度開始 市施設に指定管理者制度を導入 県税に森林湖沼環境税を期限付で導入
5月	市焼酎づくり推進協議会設立
6月	市の花にあじさい・木にくり・鳥にうぐいすを制定 ふるさと応援寄附金制度スタート 市消費生活センターを開設 市ブランド化推進会議設立
8月	市民14人によるまちづくり委員会を設置 郷土資料館の体験教室で飯田吉英のソーセージを復元
9月	市総合防災訓練を第1常陸野公園で実施
10月	アントキの猪木さん母校下稲吉中学校で講演
11月	国民文化祭で「帆引き船フェスタ」に皇太子殿下来市 本格やきいも焼酎「湖山」発売 粟田橋開通
12月	かすみがうらのスイーツ・おやつコンテスト開催
平成21年2月	市議会議長に桂木庸雄氏が就任
3月	霞ヶ浦の境界が確定 深谷大和田バイパス開通 定額給付金支給受付開始 霞ヶ浦新庁舎建設工事着工
4月	乗り合いタクシーの運行開始(霞ヶ浦地区) 霞ヶ浦地区の保育所を3カ所に統合し、内2カ所を民営化 コイ養殖が6年ぶりに再開
5月	帆引き船が読売新聞社企画「平成百景」に認定
7月	「湖山の宝」プレミアム商品券発売開始 県内全域レジ袋無料配布中止 トレーニングファームで新規就農者を応援
8月	「霞ヶ浦帆引き船模型」が県の郷土工芸品指定
9月	新型インフルエンザの影響で学年閉鎖など
10月	市推奨品認定式で「湖山の宝」に4品認定
12月	志筑小学校移転整備工事着工 ブルーベリーリキュール「霞恋」発売
平成22年1月	千代田庁舎にパスポート窓口開設



総合型地域スポーツクラブ設立



やまゆり館オープン



特産品の「湖山」と「霞恋」



深谷大和田バイパス開通式



プレミアム商品券発売

コンテスト作品が身近な料理に！ ニュース追い記事③

市産食材使用の食発見コンテスト(H20.1)とスイーツ・おやつコンテスト(H20.12)

食発見コンテストで最優秀賞に選ばれた「れんこんハンバーグ」が基となり、創作ハンバーグが3月28日から市内16のおもてなし料理の店で一斉に提供されます。(詳しくは、20ページを参照。)また、スイーツ・おやつコンテストで入賞した作品をご家庭の定番おやつとして作っていただけるようレシピ集をまとめています。

